

特集1

患者さんの死に遭遇したスタッフを 管理者はどうフォローすべきか

患者さんの不慮の死に遭遇した看護師に適切なフォローがなされないために、仕事を辞めようかと思うほど精神的に追い込まれることがあるといいます。しかし事故が起きた時というのは、管理者側も余力がないほどいろいろな処理が押し寄せる時でもあります。

そこでこの特集では、「現状の問題点を整理する」「管理者が慌てずに対処するためのマニュアルを提示する」ことを目指します。さらに、家族だけでなく医療者のグリーフケアにもつながるエンゼルメイクについて紹介します。

*師長の認識と課題——鈴木啓子、外間直樹

*師長用マニュアルを作りました——中村創、三上剛人

*精神科看護技術としてのエンゼルメイク——加藤寛之

特集2

スタッフの意欲を向上させ、離職を防止するために うちではこんなことをしています

*離職防止につながった「ナラティブ研修」の実施報告——小原幸子

*病院スタッフの意欲を向上させ、目標に到達するための

PDCA サイクルを用いたグループリフレクション——西尾美保、押部宣子

特別記事

今はこうする 看護技術

◎中島篤正

焦点

経験者だから伝えられる 電子カルテ導入前後のコツ

◎一陽会病院

編集後記

爪切り取材でお会いした伊部美代子さん。ご本人は「がっはっはー」と豪快に笑うとてもサバサバした女性なんですが、やりとりをするなかでのメールにとっても優しさがあります。メールを読むたびに私のささくれた心は癒され、「ああこの人はほんとに天使だ」と思いました。▶伊部さんは「フットケアのお仕事が大好き」で、その理由は「ほじほじしてきれいになるのが気持ちいい」からだそうです。しかし好きであっても商売になるかどうかは別の話。そこを、「足の爪で困っている人がいて、そして改善できる技術があるのだからそれを提供しよう」と開業に踏み切るその勇気自体も、やっぱり優しさから発せられているのだと思います。商売下手で、「家賃が払えなくなったら辞める」とおっしゃっていましたが、どうかこの技術が看護界に広まるどころまで頑張ってくださいと願わずにはいられません。(石川)

*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

精神看護 第19巻第6号 2016年11月15日発行(隔月刊) 発行：株式会社医学書院 代表者：金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2016, Printed in Japan 販売部：☎03-3817-5659

『精神看護』編集室：☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当：石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン：高見清史 (view from above) 表紙写真：齋藤陽道 印刷・製本：アイワード

1部定価：本体1,300円＋税

2016年年間購読料(送料弊社負担、年間6冊)：本体7,080円＋税(冊子版)／本体10,080円＋税(冊子＋電子版/個人)／本体7,080円＋税(電子版/個人)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*『精神看護』は、株式会社医学書院の登録商標です。